

# おおだの森保護事業者会

調査団体名 : おおだの森保護事業者会  
 設立年 : 2000(平成12)年  
 団体URL :  
 活動拠点 : 愛知県岡崎市榎山町  
 取材日 : 2013年12月16日

団体代表者名 : 浅井董亮  
 対応してくれた人の名前 : 浅井董亮

調査員 : 井上祥一郎、西原 均  
 レポート作成者 : 井上祥一郎

## 活動内容

旧額田町の故郷の森ともいえる「おおだの森」が、燃料革命後の薪炭林の利用低下で手入れが不十分な雑木林に変わってしまった。第二東名高速道路のインターチェンジの設置が決まり、榎山町が玄関口にあたるので、シンボルとしておおだの森の整備が取り上げられ、行政トップの要請で活動が開始された。現在は、有志がサクラとカエデを植栽する活動を月2回の頻度で行うようになっている。その他、イベントとして4月の第2週に花見の会、新年に初日の出を見る会を開いたり、研修会として他事例を見学に行ったりしている。会員数は53人、現地作業は15名から20名程度。

## 会のモットー(何を大切にしているか)

おおだの森にサクラとモミジを植え、将来、サクラの名勝となる夢。  
 無理を言わない、遅刻・早退も自由。それらの理由も聞かない。気持ちよく皆で力を合せて作業することを心掛けている。  
 植栽樹種は、現地に以前からあるもの以外は植えないことに決めている。

## 設立から現在に至るまで変化したこと

立ち上げ時から2006(平成18)年までは行政主導であったが、岡崎市に合併してからおおだの森保護事業者会が主体となり、それを行政がサポートするようになった。

## 連携している団体・専門家・自治体など

岡崎市役所がほとんどであり、その他では福井県の「菜の花好夢店」と若狭での交流が続いている。

## 山村再生や、その担い手づくりに関わる具体的な活動(例:小仕事づくり、山村・森林資源活用など)

先に書いた年2回のイベントのほか、岡崎市にある小学校の授業の一環としておおだの森体験や、岡崎の人間環境大学のゼミ、JAや地域社会教育委員会の歩け歩け大会などにおおだの森を活用してもらっている。また、岡崎市の環境まちづくり会議も年3回、おおだの森を活用している。

## 現在直面している課題

設立当初から見ると、植樹本数も増え2,600本となった。これらの手入れは除伐と下刈りであるが、散策路の草刈りやイベントもあり、人手不足の傾向がある上に、会員が高齢化や病気等で減少しており、新規会員を募集中であるがなかなか集まらない。

## 今後やってみたいこと

おおだの森では地元住民の理解で植樹させてもらっているが、今少し植樹できれば大変良くなる箇所が一部の反対者がいてできないため、これを何とか解決したい。同じ理由で周回道路が途中で止まっており、これも解決すれば素晴らしい山となると思う。

そのためにはどんな情報・人脈が必要か

上記問題は簡単なことでなく、人脈や情報があれば解決できるかはわからない。

### チームオリジナルの質問

<質問内容>後継者はいるか。活動だけがをするようなことはないか。

<答え>会長の後継者なら候補者はいる。一昨年草刈り機による事故があったが、運良く大ごとにはならなかった。今後も安全第一で作業をするよう指導している。

### 写真



おおだの森をバックに浅井会長